



▲6月25日に行われた市民協働推進シンポジウムに多くの市民の皆さんが参加されました

平成26年第2回定例会

府中市市民協働都市宣言についてなど

8議案を審議

平成26年第2回市議会定例会は、5月30日から6月16日までの18日間の会期で開催されました。
市長提出議案は、「府中市市民協働都市宣言について」「府中市子ども医療費助成条例及び府中市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例」など8件を審議した結果、可決6件、同意2件となりました。また、陳情1件が審議されました。

今定例会で市長から、「府中市市民協働都市宣言について」の議案が提出されました。この議案は、平成26年度を初年度とする第6次府中市総合計画に掲げる都市像「みんなど創る 笑顔あふれる 住みよいまち」の実現に向けて、市民と市が一体となって市民協働を推進していくため、市民協働都市を宣言するものです。

厚生委員会における審査の中で、「近年、少子高齢社会の進展や個人の価値観、ライフスタイルの変化に伴い、地域社会を取り巻く状況が変化し、これによって地域に生じる課題も複雑化、多様化してきている。地域課題の解決に向けては、複数の主体がそれぞれの特徴を生かして連携、協力をすることで、きめ細かなサービスが提供でき、ここから生まれる人と人とのつながりが、まちの地域力の向上にもつながることから、本市においてもこれまで以上に積極的に協働を推進していくため、本件を提案するものである」「宣言文については、25年5月に設置した府中市市民協働推進協議会からの提言を最大限尊重して作成したものである」等の説明がありました。

質疑に対し、「宣言の文中において、市を構成する市民、自治会、町内会、NPO団体、

事業者、教育機関、市など全てを含め、『わたしたち』という形で表現をしている」「本市には自治会やコミュニティ協議会、NPO団体、あるいは社会貢献活動に取り組んでいる企業、また、大学を初めとする教育機関などの資産、財産が数多くあり、その貴重な力と一体となって課題解決に取り組んでいくことが求められている」「宣言の実施日等については、26年10月19日を予定している」等の説明がありました。

委員から、「今後、宣言しただけで終わらず継続して市民協働を進めていくことができるよう全庁的な取組を求め同議案に賛成する」等の意見があり、審査の結果、本案に

人事議案

定例会最終日の本会議に、市長から固定資産評価審査委員会委員の選任の同意を求める議案、人権擁護委員候補者の推薦の同意を求める議案が提出され、次の方々が同意されました。

■固定資産評価審査委員会委員
小林 勤氏（62歳）

■人権擁護委員候補者
齋藤 茂一氏（68歳）

全議員が

市制施行60周年記念ポロシャツを着用

今定例会では、高野議長、高野市長をはじめ市議会議員、市役所の幹部職員の全員が市制施行60周年シンボルマーク入りのポロシャツを着用し本会議に出席しました。

高野議長は「市制施行60周年をしっかりとアピールし、市民の皆様とともに記念すべき年を盛り上げていきたい」と話されました。



一般質問

(2～5ページ上段まで)

市議会定例会では、提出された議案を審議するほかに、一般質問として、各議員が市政全般に対して質問することができます。今回は21人29件の一般質問がありました。(他はその他の質問)

女性センターに期日前投票所を設置してはどうか

地域的なバランスを考慮し 選挙管理委員会で協議していく

加藤 雅大議員(市政) 近年、国政・地方に関わりなく選挙の低投票率が指摘されている。しかし、期日前投票は増加傾向であるため、人が集まる

民間商業施設等に期日前投票所を設置することで投票率の向上を図ってはどうか。
選挙管理委員会事務局長 民間商業施設への設置には、有権者情報を管理するサーバーと端末をつなぐ専用回線の敷設や不特定多数の人が出入りするところによる投票の秘密の保持、事前に入っているイベントとの兼ね合い等、様々な影響が考えられる。



▲期日前投票所(府中市役所) 施設の4階まで行く必要がある、駐車場の利用が20分以上は有料になるなどのデメリットがあるが、商業施設を併設していることから一定の利便性の向上に資するものと考えられるため、地域的なバランスを考慮し選挙管理委員会で協議していく。

子どもが遊び育つ環境と子どもの発達に関する認識

自由に遊び、自然と触れ合うなど様々な体験を重ねることが重要である

山上 稔議員(市フォ) 昔は近所に空き地があり、多くの子どもたちがそこで遊んでいたが、子どもを取り巻く環境は大きく変わってきている。

そのような中、市では子どもが遊び育つ環境と子どもの発達について、どのように認識しているか。
市長 幼児期から自由に遊び、公園などの整備や管理運営を

自然と触れ合うなど様々な体験を重ねることが重要であり、感覚の発達、積極的な行動力の育成など将来の青少年の自立性、社会性を育むことにつながるものと考えている。

議員 子どもが育つ環境と子どもの発達という認識に立った上で、プレーパークを含む公園などの整備や管理運営を

徘徊SOSネットワーク創設についての考えは

協力機関を拡大するとともに 情報提供の流れ等を整理し 制度化を検討していきたい

村崎 啓二議員(市フォ) 認知症施策として、国が市町村に推進している認知症ケアパスの作成状況は。また、その施策の一つである徘徊SOS

ネットワークの創設について、市の考えを聞きたい。
福祉保健部長 認知症ケアパスは医療、介護、地域が連携して認知症の方の情報を共有し、日常的なケアを進めるシステムであり、市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画(第6期)期間に運用できるように作成に努めていきたいと考えている。

新しい知的財産マインドに 対応できるか検証しては

関係課で連携を図っていく スタンスを維持していきたい

桑島 耕太郎議員(志高) 最近、知的財産物が流出する事件が多発しているが、知的財産権に関する、市の認識は。

市長 財産的価値を有する情報である知的財産の適切な活用が、新たな価値を創造し、社会や経済の活性化につながるものと認識している。

市はどのように考えるか。
都市整備部長 本市の公園整備は緑の基本計画2009において、量から質への転換を図ることとし、例えば公共施設等と隣接する公園を一体的に利用することで、子どもが安心して自然と触れ合い遊ぶことができる空間づくりについて研究していく。

また、徘徊高齢者の捜索に 関し、市では警察、地域包括支援センターとの情報共有により連携体制を構築している。 今後は消防署、学校、交通機関、コンビニエンスストア

知的財産権については権利の活用とともに保護も肝要となることから、法教育等で正しい知識を身に付けることも重要と考えている。

議員 近年のコンピュータ社会では誰もが著作権者に、また、利用者になり得ることから新しい知的財産マインドが重要となる。市でこのような状況に対応できるか検証するべきと考えているか。

政策総務部長 自治体として革新的な取組を推進することは時期尚早と捉えているため、国等の動向を注視し、知的財産権の適切な運用に努めつつ、関係課で連携を図り業務に取り組みたいと考えている。

母さん助けて詐欺の撲滅に 効果的な情報提供や啓発活動の 具体的な方策は

見守り活動での声掛けなど 地域全体で撲滅機運を高める 対策が必要と考えている

横田 実議員(市政) 高齢者を狙った悪質な犯罪が後を絶たず、特に「母さん助けて詐欺」は巧妙に対応策などの情

報が行き届いていないと感じるが、詐欺の撲滅への基本的なポイントは何か。
市長 母さん助けて詐欺などの特殊詐欺については、本市においても発生件数や被害総額が増加しており、看過できない卑劣な犯罪と認識している。撲滅に向けては、府中警察署、防犯協会、自治会連合会、金融機関等が連携を強化し、正しい情報提供と啓発活動を実施していくことが必要であると考えている。

議員 今後の効果的な情報提供、啓発活動について具体的な方策は

ちゅうバスの運営で 武蔵台1丁目の交通不便地域 解消に向けた施策は

路線の効果的な活用を前提に コミュニティバス検討協議会で 議論していただきたいと考えている

白井 克寿議員(市政) 平成15年から運行を開始したちゅうバスは、特に交通不便地域

に住民の大切な交通手段となっており、市街地や公共施設への接続など様々な面において貢献している。

また、交通不便地域の解消等の要望が寄せられている。

おいて貢献している。
議員 武蔵台1丁目に交通不便地域があると聞くと、解消に向けた施策はあるか。

生活環境部長 同地域に関しては、現在の路線を効果的に活用することを前提にコミュニティバス検討協議会で議論していただきたいと考えている。



▲ちゅうバス 多くの市民が関心を持ち、期待をしていると思えるが、市民からの評価や要望にはどのようなものがあるか聞き

たい。
生活環境部長 評価では、コミュニティバスには運行本数が多い、小さいバスなのでバス内でコミュニケーションが生まれやすい等、市民の足として定着していることがうかがえる意見があった。



京王線のダイヤ改正を 鉄道事業者にお願できないか

更なる利便性の向上等について 継続的に要望していきたい

手塚 歳久 議員(市フオ) 京王線は、多くの市民にとって重要な交通機関であるが、調布駅地下化改修後のダイヤ改正で、府中・新宿間の所要時間



▲京王線
他 市制60周年について
ちゅうバスの一部変更について

が長くなったと言われている。また、調布・新宿間では、原則として特急または準特急電車が連続で運行するダイヤとなっており、乗り換えに不便を感じているとも聞いている。そこで、これらを改善するダイヤ改正を鉄道事業者にお願できないか。

ま ち づ くり 担 当 参 事 事 業 者 によると、ダイヤの策定は、利用者の要望を踏まえ、列車本数や列車種別など全体のバランスを考慮して行われていることである。

ダイヤ改正については、事業者との交渉の感触から、近々の実施は大変厳しい状況と考えるが、更なる利便性の向上と安全性の拡充について、計画的かつ継続的に要望していきたい。

保育所の建設に 国有地等を利用する考えは

積極的活用を 検討していきたい

小野 寺 淳 議員(市政) 平成26年度は、17年度に開始した市次世代育成支援行動計画の最終年度であるが、これまでに市が取り組んできた保育所の待機児童解消策について聞きたい。

増加分が上回ったため、待機児童の解消には至らなかった。議員 待機児童の解消に向けて、府中刑務所の施設周辺を活用するなど、保育所の建設に国有地や公有地を利用する考えは。

市長 本市では、既存保育所の定員拡大を図るとともに認可・認可外保育所の整備に取り組んだことで、認可保育所だけでも約1300人の定員増を達成した。

しかしながら、増加したサービス供給量を保育需要量の

観光協会や商工会議所などの 協働事業をどのように行う考えか

市民や事業者の主体的な活動により 地域の活性化等が推進できるよう 働きかけを行っていききたい

村木 茂 議員(市政) 今後の市政運営において、市民協働の取組は大変重要であると思

うが、商工会議所や社会福祉協議会などの協働に関する取組を聞きたい。

政策総務部長 商工会議所とは、小規模事業者等に指導や相談などを行う経営改善事業で連携を図っている。社会福祉協議会には、地域の福祉関係者が相互に交流できるような支援を行っている。

都市計画道路3・4・11号の 整備を見据え、多磨駅の改良を 西武鉄道に働きかける考えは

採算性を考慮すると 厳しい状況だと聞いているが 粘り強く要望していく

西宮 幸一 議員(市フオ) 都市計画道路3・4・11号(11号)及び3・4・16号(16号)に関する平成26年度の事業内容を聞きたい。

都市整備部長 11号については、用地測量説明会を開催し、用地測量等を実施していく予定である。16号については、引き続き用地買収に努めるとともに、道路築造等の詳細設計を実施予定であり、都市計画道路東京八王子線(東八道路)までの延長約420メー

た方が市民のアイデアを生かせると思うが、今後、観光協会や商工会議所など各団体との協働事業をどのように行う考えか。

生活環境部長 現在、団体による市民協働の取組として、ボランティアが主体の観光ガイドツアー等が行われている。今後は、市民や事業者の主体的な活動により、地域の活性化などを更に推進できるように、観光協会等への働きかけを積極的に行っていきたい。

トルについては、現況測量説明会を開催し、測量及び概略設計等を実施する予定である。議員 11号の整備後を見据え、利便性向上のために多磨駅の改良を西武鉄道に働きかける考えはないか。

まちづくり担当参事 西武鉄道からは、現在の同駅利用者数と改良に伴う採算性を考慮すると大変厳しい状況であると聞いているが、粘り強く要望をしていきたい。

他「民の力」を生かす市民協働の実現を願って

学校給食用牛乳について 市独自で事業者を選定することは可能か

十分な調査、検討が必要と考えている

田村 智恵美 議員(ネット) 都内や神奈川県内の児童、生徒が学校給食用牛乳を飲んだ後、違和感を訴えたという報道があった。

これにより、牛乳等の安全性をどのように確保していくのかという課題が提示されたと言え

るが、本市では学校牛乳供給業



各イベント等を単発で終わらせず 横の連携等をもつと図ることが 必要と思おうかがどうか

一過性のものだとせず 連携を継続的、横断的に図り 市の持つ魅力を発信していきたい

須山 卓知 議員(市フオ) 本市が主催するイベントには、どのようなものがあるか。

市長 コミュニティの醸成における市民桜まつりや文化センターまつり、にぎわいの創出と地域の産業振興を図る府中工業技術展や農業まつりなどを実施している。

議員 本市にはすばらしい資源が多くあるが、あり過ぎることで、逆に決定力に欠けてしまっているのではないかと

思う。そういう意味では、各事業のイベントやキャラクターの決定をどのように行っているか。

教育部長 国の定める学校給食用牛乳供給対策要綱等に基づき、都知事が供給を希望する自治体ごとの区域を決定し、都教育委員会と協議の上、区域の供給事業者及び価格を決定することとしている。これにより、本市への供給事業者が決定されている。

成人用肺炎球菌ワクチンの 任意接種を勧めることで 肺炎発症リスクを軽減できるか

より多くの高齢者の 発症リスクの軽減や 重症化の予防が期待できる

遠田 宗雄 議員(公明) 成人用肺炎球菌ワクチンの任意予防接種を勧めることにより、定期予防接種の市負担分の軽減や市民の肺炎発症リスクの軽減ができると思うがどうか。

福祉保健部長 同ワクチンの予防接種は、平成26年10月から予防接種法に基づき65歳から5歳刻みの定期接種となる予定で、地方交付税措置により、全て一般財源での対応となる。そのため、限られた期間内に任意接種を推進することとは、市の財政負担を軽減するだけでなく、より多くの高齢者の肺炎発症リスクの軽減や重症化予防を図ることが期待できる。

議員 はさまの年代に対し、任意予防接種の助成が終了する旨をはがき等で通知できないか。

福祉保健部長 市施設でのチラシ配布やポスター掲示を行うほか、イベント等を活用して周知するとともに、市民がイベント会場で申込みを可能とするなど周知の拡大に努めていく。

者の決定をどのように行っているか。

教育部長 国の定める学校給食用牛乳供給対策要綱等に基づき、都知事が供給を希望する自治体ごとの区域を決定し、都教育委員会と協議の上、区域の供給事業者及び価格を決定することとしている。これにより、本市への供給事業者が決定されている。

議員 安定的な牛乳供給と安価での配送ができる事業者がある場合、市独自で事業者を選定することは可能か。

教育部長 国による要綱等の趣旨などを考慮すると、市独自で事業者を選定することについては十分な調査、検討が必要と考えている。

学校給食について自校調理方式に戻すことを再考できないか

給食センター建替えの早期対応が求められており難しいと考える

服部ひとみ議員(共産) 学校給食センターの建替えについて、建替え用地等を約12億6000万円で買入れ...

平成26年第3回定例会は 9月1日(月) 午前10時 開会予定です。

常任委員会の審査報告から

※本定例会では、総務委員会に付託された議案はありませんでした。

文教委員会

第31号議案 土地の買入れについて

この議案は、調布基地跡地内に都が所有する土地について、市立学校給食センター及び東京消防庁...

主な内容として、「当該地は警察大学の東側に位置し、南側部分が学校給食センター建替え用地、北側部分が府中消防署白糸台出張所建替え用地である。面積は両用地を合計し...

厚生委員会

第30号議案 府中市保健センター条例の一部を改正する条例

この議案は、市民の施設利用における利便性を高めるとともに事務の効率化を一層進めるため、保健センターと保健センター分館を統合することに伴い、分館に関する規定について所要の改正を行うもの

主な改正内容として、「分館の廃止により第3条を削除する」「平成27年4月1日から施行するものである」等の説明があった。

質疑に対して、「保健センターにおける総合健康診査事業で使用していた場所等が空いたことに伴い、分館にある機能を保健センターに統合するものである。統合後も支障なく、現状の機能を維持したまま事業ができる」と認識して

建設環境委員会

第26号議案 私有地の道路使用に関する和解について

この議案は、本市が整備を行い、公共の用に供していた道路の一部について、土地所有者から権利を有する旨の申し出を受けたことに伴い、解決に向けて交渉してきたところ、当事者間において和解の内容に合意したものである

主な内容として、「本件の和解が成立した後、市は和解金として相手方に294万1000円を支払うこととする」等の説明があった。質疑に対して、「弁護士に相談したところ、今回のケースは民法上の不当利得に当たるということで、道路として使用していた土地の賃貸料相当分を返還することが妥当であると聞いている。そのため、本市の基準に基づき、本件の土地の固定資産税に都市計画税を加えた4倍の額に相当する分の10年間分を支払うこととした」...

委員から、「統合により保健センターの有効活用ができるようになる」と考えるが、以前、保健センターや分館に問い合わせた際に、一方の施設に電話を掛け直すことなどもあった。市民に不自由を掛けないように対応することが前提であるため、その点に十分配慮することを要望し、本案に賛成する等の意見があった。 審査の結果、本案については、全員異議なく、原案のとおり可決すべきものと決定した。

特別委員会の中継報告から

基地跡地対策特別委員会

調布基地跡地の状況に関し、調布飛行場については、三宅島航空路線の運用を平成26年4月2日より開始している。

都市整備用地については、用地北側の人見街道に面した民有地が国に物納されたことを受け、処分方法について市の意向を確認したいと国から説明があり、本市では、既存の返還財産と一体で処分を行うことが望ましいと回答した。

再開発対策特別委員会

府中駅前南口再開発事業に関し、再開発ビルについては、今後、組合の理事会で管理会社選定の手続きに入るとしている。

商業計画に係るテナントへのヒアリング結果では、主にファッション等の業種から出店の可能性について高評価を得ている。工事等の進捗状況については、平成26年4月14日に事業に係る起工式が行われ、今後は7月までに全ての建物を解体する予定とし、8月に埋蔵文化財の発掘

市庁舎建設特別委員会

市庁舎建設基本計画策定に向けた取組状況について、関係団体にアンケート調査を実施し、老人クラブ連合会からは高齢者に分かりやすい案内表示の設置に関する意見などがあった。また、障害者福祉団体からは窓口のレイアウトやトイレへのユニバーサルデザインの採用に関する意見などがあった。

庁舎建設基本計画の専門委員からは、基本計画(案)の内容や設計者の選定方法などについて意見をいただいている。

得については、今後、議会での議決を経て売買契約の手続きを進めていく。また、用地に地下埋設物が存在する可能性があり、除却に係る費用負担について、引き続き都と協議をしていく。 府中基地跡地留保地の状況に關しては、都に対し、公園以外の土地利用の意向について改めて照会している。また、小金井街道の拡幅、留保地内の廃屋及び周辺の鉄条網の撤去等については国に要望しているなどの報告があり、これを了承した。 調査を完了させたいとしている。 府中駅前通りの交通計画に關しては、交通広場付近に横断歩道の設置はできないとの見解が警視庁から再度示された。また、右折レーンについては、再開発ビルへの入庫計画動線と同一からの右折進入禁止等の交通規制は連動しないとの見解も出されている。この条件を考慮しつつ、警視庁と引き続き協議を行っているなどの報告があり、これを了承した。 敷地拡張の進捗状況について、一部地権者の諸事情で交渉に時間を要していることから、敷地の確定には至っていない。 工期全体のスケジュールについて、平成26年12月までに敷地を確定した上で基本計画(案)を提示し、27年度当初には基本設計の策定に取り組みたいと考えている。なお、基本設計と実設計の設計期間は、他自治体の事例などから2年程度と想定しているなどの報告があり、これを了承した。

市制施行60周年記念事業
府中市子ども市議会を開催します!

■特別委員会
 7月30日(水)午後1時~4時30分
 3委員会に分かれて今後のまちづくりについて議論し、決議案の作成などを行います。

■本会議【2部制】
 8月5日(火) ①午前10時~正午
 ②午後2時~4時
 子ども議員による一般質問、委員会で作成された決議案の議決などを行います。

<参加小学校>
 ①一小・三小・五小・七小・九小・武蔵台小・新町小・白糸台小・若松小・南白糸台小・南町小
 ②二小・四小・六小・八小・十小・住吉小・本宿小・矢崎小・小柳小・四谷小・日新小

*本会議につきましては、当日、インターネット中継でご覧いただけます。
アドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai>

<傍聴について>
 当日は保護者の方など多数の来場が予想されるため、会場内での傍聴ができない場合があります。

陳情から(要旨)

本定例会では陳情1件を審議し、採択となりました。

◎府中駅バスターミナルに公衆トイレの設置を求める陳情

この陳情は、「平成6年に『京王線府中駅下に公衆トイレの設置を求める陳情』が全会一致で採択されたが、市は設置に向けて動かなかつた。前回の陳情採択時から人口は5万人余りも増加し、公衆トイレの必要性は一層高まっている。そのため、府中駅バスターミナル付近に公衆トイレを設置してほしい。また、現在の公衆トイレの位置を表示した案内板を誰もが見える場所に設置してほしい」との内容である。

建設環境委員会が審査し、質疑に対し、「府中駅には駅東側の1階と2階のほか、近隣の商業施設などにもトイレが設置されていることから、トイレは充足しているものと認識してきた」「現段階でトイレの設置に向けて検討を進めることが将来に向けた最適な判断になると考えている」「トイレを設置する際には、設置場所周辺の方に迷惑が掛からないよう配慮しなければならないと認識している」「府中駅南口再開発事業の区域内でのトイレの設置は難しい状況であるため、その北側の駅前広場の改修に合わせて、設置場所を検討しているところである」「案内板はなるべく早い段階で設置したいと考えている」等の答弁があった。

委員から、「ターミナルや駅の近くにトイレを設置することの検討をお願いし、採択を主張する」「府中駅南口再開発事業と並行して都市間競争力の強化という面からトイレの設置は必要と思うので採択を主張する」「ユニバーサルデザインの導入などをしっかりと吟味してトイレの設置を進めてもらいたい」等の意見があった。

審査の結果、本陳情については、全員異議なく、採択すべきものと決定した。

第2回定例会議案等議決結果一覧

番号	件名	本会議結果	会派賛否※					
			市政	市フォ	公明	共産	ネット	諸派
《市長提出議案》 8件			市政	市フォ	公明	共産	ネット	諸派
26	私有地の道路使用に関する和解について	可決	○	○	○	○	○	○
27	府中市市民協働都市宣言について	可決	○	○	○	○	○	○
28	府中市子ども医療費助成条例及び府中市ひとり親家庭等医療費助成条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
29	府中市市税条例等の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
30	府中市保健センター条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○
31	土地の買入れについて	可決	○	○	○	×	×	○
32	固定資産評価審査委員会委員の選任の同意について(小林 勤氏)	同意	○	○	○	○	○	○
33	人権擁護委員候補者の推薦の同意について(齋藤 茂一氏)	同意	○	○	○	○	○	○
《陳情》 1件								
7	府中駅バスターミナルに公衆トイレの設置を求める陳情	採択	○	○	○	○	○	○

※議長(市政)は表決に含まれません。 ○:賛成 ×:反対

定例会日誌

(次の日程で開催しました)

- <5月>
 - 30日 本会議(委員会付託等)
- <6月>
 - 2日 (一般質問)
 - 3日 ()
 - 4日 総務委員会
 - 5日 文教委員会
 - 6日 厚生委員会
 - 9日 建設環境委員会
 - 10日 基地跡地対策特別委員会
 - 11日 再開発対策特別委員会
 - 12日 市庁舎建設特別委員会
 - 16日 本会議(常任・特別委員会審査報告等)

会派の構成 平成26年第2回定例会

府中市議会市政会(市政)	10人
市民フォーラム(市フォ)	5人
府中市議会公明党(公明)	5人
日本共産党府中市議団(共産)	3人
生活者ネットワーク(ネット)	3人
志高会(志高)	1人
友愛会(友愛)	1人

(平成26年6月16日現在)

編集後記

厳しい暑さが続いておりますが、市民の皆様、いかがお過ごしでしょうか。第2回定例会の内容をまとめた、議会だより第271号をお届けいたします。私たちが編集委員は、これからも、より読みやすく親しみやすい紙面づくりに努めていきたいと思っております。皆様のご意見、ご要望をお待ちしております。

議会報編集委員会
 委員長 石川 明男
 委員 浅田 津子
 須田 卓知
 西村 陸
 横田 実
 服部 ひとみ

お知らせ

市議会の本会議は公開されており、どなたでも傍聴することができます。なお、本会議場における手話通訳での傍聴も受け付けております。

本会議及び常任委員会の会議録は市議会ホームページのほか、市政情報公開室(市役所3階)、中央図書館、白糸台図書館、西府図書館でご覧いただけます。また、本会議の会議録については、各地区図書館でもご覧いただけます。

本会議のインターネット中継の配信を実施しています。配信内容には、生中継と録画中継があり、録画中継については本会議終了後おおむね3日以降(土・日・祝日を除く)にいつでもご覧いただけます。

アドレス <http://www.city.fuchu.tokyo.jp/gikai>

本会議のモニター中継は、議会開催中、市民談話室(市役所1階)にて放映しております。

詳しくは、議会事務局庶務課へお問い合わせください。

TEL: 335-4506 / FAX: 364-5415
 …傍聴にお越しください…

■農業委員会委員の推薦
 高野 昌典氏が農業委員会委員に推薦されました。
 (平成26年6月16日推薦)